

# 北淡活断層シンポジウム 2009 (第2報)

## 「親子で体験! 地震と防災」

主催: 北淡活断層シンポジウム実行委員会 (委員長: 岡田篤正, 事務局幹事: 加藤茂弘)

共催: 淡路市・淡路市教育委員会 日本活断層学会 兵庫県立人と自然の博物館

協力: 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 国土地理院 東京大学地震研究所 淡路広域消防事務組合消防本部 株式会社ほくだん 兵庫県立淡路高校 兵庫県立淡路景観園芸学校 (以上、予定)

後援: 兵庫県・兵庫県教育委員会 日本第四紀学会 日本地震学会 (以上、予定)

1. **開催場所** 兵庫県淡路市小倉・北淡震災記念公園セミナーハウス
2. **日時** 2009年1月10日(土)午後1時~1月11日(日)午後1時頃まで
3. **宿泊場所** 北淡自然休養村センター(小型バス送迎)・周辺の民宿(徒歩/遠地は送迎あり)
4. **旅費等** 招待講演者に支給。一般聴講者は原則自費。一般ポスター発表者は原則自費ですが、事務局幹事まで電子メールにて問い合わせください(院生・学生研究者など若手研究者を中心に対応します)
5. **一般ポスター発表者の公募期限** 12月27日(土)までに、兵庫県立人と自然の博物館・加藤茂弘宛に申し込み。発表要旨は申し込みと同時に送付ください。
6. **参加希望者** 12月27日(土)までに申し込むこと 兵庫県立人と自然の博物館・加藤茂弘宛
7. **予稿集の締切**

期限は12月27日(土)、写真製版用の原稿は郵送にて、Wordもしくはpdf形式の原稿は電子メールにて、ともに下記の加藤茂弘宛に送ること。

ポスター発表者・参加希望者申し込み・予稿集送付先:

兵庫県立人と自然の博物館・加藤茂弘宛(発表と参加申込はメール・Faxにてお願いします)

〒669-4546 兵庫県三田市弥生が丘6

電話: 079-559-2001, Fax: 079-559-2007

E-mail: katochan@hitohaku.jp

## 8. 予稿集の書式等

予稿集原稿はA4サイズで2頁または4頁、第四紀学会予稿集に準拠(上余白30mm, 下余白35mm, 左右余白25mm, タイトルの前15mm余白, タイトル(ゴチ), 氏名(所属), 英文タイトル。本文は1行漢字35文字, 1頁36行を目安とします。

第四紀学会の様式がおわかりにならない方は、原稿をWordで作成してメールで、図版はおよその割付を指定して加藤茂弘宛に送付頂ければ、事務局で第四紀学会予稿集に準拠して作成します。その時には1ページあたり1行35文字×36行を目安に作成してください。

図版は原図に限らず、鮮明なコピーを送付して頂くか、pdfもしくはjpegファイルで保存したフロッピーないしCD-ROMを送付ください。2Mb未満のデジタル図版であれば、メールにて送付頂くことも可能です。それ以上のファイルは2Mb未満の図に分けて送付頂くか、メール宅配便を利用、あるいは上記の媒体にて加藤茂弘宛に送付ください。

## 9. 活断層シンポジウム2009 予定(演題は当日に変更になる場合もあります)

第1日: 2009年1月10日(土) 午後1時~午後5時

### 1. 体験型地震・防災教育ブース「親子で体験! 地震と防災」

1995年兵庫県南部地震から14年。この地震の年に生まれた子どもたちも中学生になり、地震体験のない世代が多くなりました。2009年の北淡活断層シンポジウムでは、親子や子ども同士でブースを回り、実験・実習や工作を楽しみながら、活断層や地震・防災についてともに考えていきませんか。活断層や地震・津波防災に対する興味と関心を、地域と共同で世代を超えてつなげていく試みに挑戦してみます。

### 出展予定の団体/プログラム:

兵庫県立人と自然の博物館(加藤茂弘・先山 徹ほか)

- ・動く活断層ペーパークラフトを作ろう、手動耐震実験装置「グラリン」で、耐震・免震の仕組みを知ろう、ビデオコーナー「激動の記録」ほか上映

産業総合研究所 地質調査総合センター&地質情報研究部門(宮地良典・兼子尚知)

- ・巨大エキジョッカーで地盤の液状化現象を見よう(巨大エキジョッカーなどによる液状化の実演ほか)

兵庫県立淡路高校(森 康成・山名 進ほか)

- ・津波や地震防災の防災紙芝居の上演、PTA らによる炊き出し  
淡路広域消防&淡路市教育委員会（西濱雅樹ほか）
- ・起震車による「近未来の南海地震」体験  
株式会社 ほくだん（米山正幸ほか）
- ・AED実習と「震災の語り部」による体験談  
日本地震学会&東京大学地震研究所アウトリーチ推進室（中川和之・大木聖子ほか）
- ・小麦粉とココアの断層実験（キッチン地震学）野島断層をまわって大地のずれを探せ！（マイクロバスツアー）  
国土地理院（津沢正晴）
- ・数値標高モデルによる立体視可能な段彩陰影図ほか

#### セミナーハウスでのポスターセッション展示

展示期間は、初日午後1時~2日目午後1時（12:00以降に撤収・希望者のみ）

ポスターは初日の午後1時までと、午後5時~6時までの間に掲示作業をお願いします。

ポスター掲示場所は、1つのポスター当り、縦90cm×横180cm、もしくは縦180cm×横90cmのスペースです。

寄贈ポスターは、セミナーハウスロビーにて約1ヶ月掲示した後、野島断層保存館に保管されます。

懇親会

6:00~8:00

レストラン「さくら」にて、希望者のみ・参加費 3,000円

懇親会終了後、宿泊希望者は宿泊地（北淡自然休養村・その他の民宿）へ移動

宿泊地~会場間は、バス等の送迎予定（無料）

第2日：2009年1月11日（日）午前9時~午後1時頃

#### 1. ポスター展示 8:40~9:30（展示会場にて説明・討論等）

活断層や地震・津波等に関係することなら、どのような課題でも応募して下さい。ポスターは、初日の午後1時~2日目の午後1時頃まで展示（第2日の12:00以降に希望者のみ撤収）。

#### 2. 2008年中国四川地震と岩手・宮城内陸地震を考える

2008年5月には中国四川省で死者6万人を超える巨大な被害地震（汶川地震）が、約1月後には日本で岩手・宮城内陸地震が発生しました。四川地震では、地滑りによる大規模な天然ダムの形成や、学校校舎など公共建築物の倒壊に関心が高まりました。岩手・宮城内陸地震では、山地域を中心に生じた地滑り・崩壊・土石流による土砂災害とともに、地震断層の発現が注目されました。これら2つについて、地震被害や地震断層、それらと活断層との関係などを紹介するとともに、総合的な視点から今後の活断層・地震・防災の研究を考えていきます。

司会進行：前半は中田 高（広島工業大）、後半は千田 昇（大分大）

講演1	中国四川地方の活断層と2008年汶川地震 熊原康博（くまはら やすひろ）（群馬大）	9:30~9:50
講演2	2008年汶川地震の地震断層と地震災害 林 愛明（りん あいみん）（静岡大）	9:50~10:20
質疑・応答	（20分）	10:20~10:40
	（休憩 10分）	
講演3	2008年岩手・宮城内陸地震で出現した地震断層 遠田晋次（とくだ しんじ）（産業総合技術研究所 活断層研究センター）	10:50~11:15
講演4	2008年岩手・宮城内陸地震の地殻変動 岡田篤正（おかだ あつまさ）（立命館大 歴史都市防災研究センター）	11:15~11:40
質疑・応答	（20分）	11:40~12:00
総合討論	（30分）	12:00~12:30

#### 注意事項

1月10日（土）の昼食について

昼食を希望される方には、実行委員会で昼食を予約（¥1000 - 実費）します。昼食の予約についても、懇親会・宿泊の希望と同時にお知らせ下さい。